



毎月第1・第3日曜日発行
広報みたかはシルバー人材セン
ターの会員がお届けしています。

発行：三鷹市
編集：秘書広報課
〒181-8555 三鷹市野崎1-1-1

市役所代表電話
☎0422-45-1151(代)
ホームページ
http://www.city.mitaka.tokyo.jp/

携帯サイト
http://www.city.
mitaka.tokyo.jp/i/



今号の紙面から

- 障がい者の就労を考えるついで2014 ……3面
- 第61回市民文化祭 ……3面
- 地震からあなたの「家・生命・財産」を守る
助成制度をご利用ください ……4面
- 市からのお知らせ ……11面から
- 第5回三鷹コミュニティシネマ映画祭 ……12面



本であそぼう 人とつながろう 三鷹市立図書館 開館50周年記念 図書館フェスタ

この10月に開館50周年を迎えた三鷹市立図書館が、記念イベントを開催します。本や読書を通じた楽しみや豊かさを地域に広げる、新しい図書館活動の担い手として、市民ボランティア「図書館サポーター」が企画・運営を行うイベントです。みなさん、ぜひお越しください。

☎三鷹図書館(本館) ☎43-9151

10月31日(金) 午前9時30分
11月1日(土) ~午後8時

会場：三鷹図書館(本館)

私たち「図書館サポーター」がアイデアを出し合い、企画しました。当日は図書館でお待ちしています!



本をとことん楽しむ

「みんなで選ぶ 図書館に50年後まで残したい本50冊」の展示

公募で寄せられた約180冊から、図書館サポーターと市民のみなさんが、編集者で書評家の松田哲夫さんのワークショップにより、50冊を選定しました。この選定した本を、市民のみなさんのコメントとともに展示します。



選定ワークショップの様子

名探偵はキミだ! 絵本・子どもの本クイズ

児童書や絵本に関するクイズに挑戦。図書館の書棚の中から答えとなる本を探し出そう。正解すると景品がもらえます。

本で人とつながる

竹のプラネタリウム(スタードーム)で星空のおはなし会

10月31日(金) 午前10時30分~午後6時

直径3.3mの竹製のプラネタリウム(写真)を設置し、ドーム内に星座を映写します。星空の下で、市民グループのみなさんが、星まつわる物語や星座の解説をお話します。



ガーデンカフェ/キャンドルナイトカフェ

図書館の中庭がカフェに変身。日没~午後8時は、キャンドルの明かりとともに朗読や音楽で、くつろぎの時間をお楽しみください。

みたか一箱古本市

一箱分をお店にみたくて、プロ・アマ問わずに古本を販売するフリーマーケット型の古本市です。当日は約20店(箱)が出店します。思い思いのテーマで本を並べる「店主」との出会いで、あなたのお気に入りの1冊を見つけてみませんか。



「お探しの本は
ありませんか?」
気軽に声を掛けて
ください。

2面で紹介している図書館のそ
のほかの催しも
併せてご覧ください。

三鷹市立図書館の シンボルマークが決定!

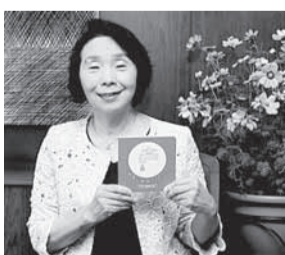
最優秀賞には、下連雀在住の石口朋子さんの作品が選ばれました。「想像の世界へいざなってくれる読書」をイメージした作品です。



50周年記念式典

11月1日(土) 午前10時~10時30分

式典では、応募総数152点の中から選ばれた三鷹市立図書館シンボルマーク入選作品の表彰式を行います。受賞者には、清原慶子市長から賞状と記念品を贈呈します。



「こんにちは赤ちゃん事業」でお届けする絵本を手に

三鷹市長メールマガジン

市長のメッセージ、活動記録、部長コラム、新着情報などをお届けします。登録は、市ホームページまたは携帯サイトからどうぞ。



市長コラム

三鷹市長 清原慶子

安心して子どもを産み、
育てることができるまちづくりを

日本では少子長寿化が進行しており、長寿化については、三鷹市では男性も女性も平均寿命が長いことをとても誇りに思います。少子化については、私が市長になった平成15年当時には、1人の女性が一生のうち産む子どもの数の平均(合計特殊出生率)が0.96と1人を下回っていました。そこで、皆様と協働して、少しでも安心して子どもを産み、育てていただけるようなまちづくりを推進してまいりました。お蔭様で、数値がその後1.10となり、3人目のお子さんを産まれる方も増えていきます。子育て中の家族の転入も増えていることから、高齢者のみならず子育て世代にもやさしいまちづくりが求められています。三鷹市では、平成23年12月から民生・児童委員の皆様が、乳児家庭全戸訪問「こんにちは赤ちゃん事業」をしてくださっています。この事業では、生後4カ月までのお子さまがいらっしゃる市内のすべてのご家庭を訪問して、さまざまな不安や悩みを聞き、必要な情報を提供し、必要な機関などを紹介し、初めての絵本(ブックスタート)をお届けしています。また、助産師の皆様には、新生児訪問指導や「赤ちゃん遊ぼう」という乳児を育てている親子を対象とした事業もしていただいています。さらに今年度は、10月25日(土)に妊娠からの子育て支援事業として、子育て支援施設を見学する「プレママ・プレパパ散歩」を行います。また、11月9日(日)に「育メンスタート講座」を実施します。これは、生後1~2カ月の赤ちゃんを育てているお父さんを対象に、ワークショップ等によって乳児の父親役割の取得を支援する事業です。三鷹市は、これからは私立幼稚園、私立保育園、NPO等の皆様との連携をはじめ、出産から育児期への切れ目のない支援をしっかりと進めていきたいと思います。「安心して子どもを産み、育てることができるようなまちづくり」を進めていくために、皆様のお力をお借りしたいと思います。